

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
アクセサリー・雑貨デザイン Accessories & Home Decor Design		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
立川 笑子	非常勤講師室	授業内に指示する		授業中に指示します
授業の概要				
アクセサリー・雑貨の製作を学習し、基本デザインからオリジナルデザインへ発展させる知識を得る。 製作した作品の見せ方、価格設定などの知識を得る。				
授業の目標				
①アクセサリーを製作出来るようにする。 ②雑貨を製作出来るようにする。 ③基本デザインからアイデアを得て、オリジナルデザインのアクセサリー・雑貨を製作出来るようにする。 ④製作した作品でポートフォリオを製作できるようにする。 ⑤価格設定の仕組みが理解出来るようにする。				
授業の方法				
ワークショップ形式のアクセサリーと雑貨の製作。				
学習の成果 (学習成果)				
アクセサリーと雑貨のデザイン、製作、見せ方、価格設定の考え方を勉強出来る。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業の進め方、評価方法など)			
第2回目	作品の見せ方と価格設定・作品撮影の仕方の説明			
第3回目	羊毛を使用した雑貨製作① (羊毛のポンポンペンの製作作業)			
第4回目	羊毛を使用した雑貨製作② (作品の撮影、価格設定、色展開)			
第5回目	PPバンドを使用したバッグ製作① (PPバンドのカットと底面の製作作業)			
第6回目	PPバンドを使用したバッグ製作② (底面から側面の製作作業)			
第7回目	PPバンドを使用したバッグ製作③ (側面、持ち手、付属品の製作)			
第8回目	PPバンドを使用したバッグ製作④ (作品の撮影、価格設定、色展開)			
第9回目	オーガンジーで作るポンポンアクセサリー① (オーガンジーをカットしポンポン製作作業)			
第10回目	オーガンジーで作るポンポンアクセサリー② (作品の撮影、価格設定、色展開)			
第11回目	ロゼット・ミニトートバック製作① (ロゼットの配色デザイン、リボンのカット作業)			
第12回目	ロゼット・ミニトートバック製作② (ロゼットの製作作業)			

第13回目	ロゼット・ミニトートバック製作③（市販のミニトートバックにロゼットを中心としたリメイク作業）
第14回目	ロゼット・ミニトートバック製作④（作品の撮影、価格設定、色展開）
第15回目	キャンドル製作①（ロウを溶かして色をつけ、フラワー製作作業）
第16回目	キャンドル製作②（ロウを溶かし色をつけ、2個目のフラワー製作作業）
第17回目	キャンドル製作③（ロウを溶かし器にいれアロマを加え、フラワーの飾り付け作業）
第18回目	キャンドル製作④（作品の撮影、価格設定、色展開）
第19回目	お正月雑貨製作①（水引を使用しミニチュア飾りの製作作業）
第20回目	お正月雑貨製作②（水引を使用したミニチュア飾りの製作と貼付け作業）
第21回目	お正月雑貨製作③（箸袋の製作作業）
第22回目	お正月雑貨製作④（作品の撮影、価格設定、色展開）
第23回目	ペーパービーズアクセサリ製作①（ペーパーカット作業）
第24回目	ペーパービーズアクセサリ製作②（ペーパーを丸めるビーズの製作作業）
第25回目	ペーパービーズアクセサリ製作③（製作したペーパービーズを使用しアクセサリ製作作業）
第26回目	ペーパービーズアクセサリ製作④（作品の撮影、価格設定、色展開）
第27回目	ポートフォリオ製作の説明
第28回目	ポートフォリオ製作①（授業内の製作し撮影した写真を使用してポートフォリオを製作作業）
第29回目	ポートフォリオ製作②（授業内の製作し撮影した写真を使用してポートフォリオを製作作業）
第30回目	まとめ・発表会

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	積極的に授業に参加しスケジュール通りに製作できるか。
レポート	30%	ポートフォリオの完成度。 (Sの規準としては、オリジナリティーと使用出来る機能（PCなど）を駆使して製作しているか)
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	20%	作品の完成度。 (Sの規準としては、販売出来る完成度で製作してあるか)
その他	10%	基本デザインからの応用展開。

教科書と参考図書

教科書は使用しない。授業のたびに必要な材料・資料を配布する。

履修上の留意点・ルール

- 製作内容が異なる場合がある。
- 材料費は別途徴収する。
- 欠席・遅刻は減点の対象となる。また、忘れ物がある場合も減点の対象となる。
- 個人ワークの授業になる為、時間を無駄にしないようにする。